**坂本　雨山 （さかもと・うざん）**

**１、プロフィール**

　川柳作家。昭和24年川柳入門。三戸川柳社代表を二度に渡って務め、県南地域の川柳発展に貢献。

＜生没＞

1919（大正８）年２月11日～1997（平成９）年11月24日

＜代表作＞

川柳句集『雨だれ』（1979年刊）

＜青森との関わり＞

三戸郡三戸町に生まれる。海軍入隊後八戸で会社員として勤務。後帰郷して印刷所経営。

**２、作家解説**

三戸郡三戸町に誕生。本名勝哉。

昭和７年岩手県立福岡中学校中退、東京商工学校に転入、昭和９年中退。

昭和15年海軍航空兵として入隊。昭和20年終戦により除隊。その後八戸造船勤務を経て三戸町で「坂本印刷所」経営。三戸町文化協会副会長を務める。

 　昭和24年三戸川柳吟社の忘年句会に出席して川柳入門。松尾馬奮、奥昭次に師事。昭和28年きやり社（村田周魚主宰）社人。

 　三戸川柳吟社の第４代代表、第７代代表を務める。第７代代表は死去するまで務めた。地元での川柳大会の企画運営に尽力、多くの中央著名柳人と交流を持つ。また三戸川柳吟社の機関誌「銀河」を発行し、川柳教室を開くなど、県南地域の川柳発展に貢献。

平成５年三戸町文化協会文化特別功労賞受賞。平成６年同町教育委員会文化功労賞受賞。享年79歳。

**３、資料紹介**

〇『雨だれ』

図書

1979（昭和54）年５月20日

210㎜×155㎜

川柳句集。著者唯一の句集で著者の還暦記念として出版された。著者の交流の広さを示す多数の柳人の文章が寄せられている。また、著者の自分史とも言える編集がなされている。編集坂本勝哉。